

# GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

## 1. 早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	低炭素水素等
	対象	水素
b.	分類	低炭素水素等
	対象	アンモニア
c.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	洋上風力発電の低コスト化
d.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代型太陽電池の開発
e.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	電気自動車等

## 2. 具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	水素
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社グループは、脱炭素社会の実現に向けて、対象製品に有するGX価値をお客さまと共に積極的に評価したうえで、合理的な価格と安定供給体制が確立された水素および水素を燃料として発電された電気を購入・販売することで、お客さまのScope1、2の削減に貢献すると共に、自社のScope3（カテゴリ3、11）の削減を図り、社会全体のGXおよびGX製品の早期社会実装にも貢献していきます。

b.	アンモニア
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社グループは、脱炭素社会の実現に向けて、対象製品に有するGX価値をお客さまと共に積極的に評価したうえで、合理的な価格と安定供給体制が確立されたアンモニアおよびアンモニアを燃料として発電された電気を購入・販売することで、お客さまのScope1、2の削減に貢献すると共に、自社のScope3（カテゴリ3、11）の削減を図り、社会全体のGXおよびGX製品の早期社会実装にも貢献していきます。

c.	洋上風力発電の低コスト化
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	当社グループは、「洋上風力発電の低コスト化プロジェクト」へ参画し、日本における浮体式洋上風力発電の早期コスト低減と導入拡大を目指しております。将来、再エネ電源開発の拡大に向け、洋上風力発電設備を購入・設置し、発電を行うことで、自社のScope2の削減を図ると共に、社会全体のGXおよびGX製品の早期社会実装にも貢献していきます。

d.	次世代型太陽電池の開発
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	当社グループは、脱炭素社会の実現に向けて、再エネ電源開発の拡大の一環として、ペロブスカイト型太陽電池を購入・設置し、発電を行うことで、自社のScope2の削減を図ると共に、社会全体のGXおよびGX製品の早期社会実装にも貢献していきます。

e.	電気自動車等
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社グループは、脱炭素社会の実現に向けて、社有車の環境負荷低減を目指し、積極的に電気自動車等を導入していきます。これにより、自社のScope1（車両燃料）の削減を図ると共に、社会全体のGXおよび電気自動車等の普及にも貢献していきます。

### 3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

### 4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	水素
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	アンモニア
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

c.	洋上風力発電の低コスト化
削減対象	
目標年度	
基準年度	

目標削減率	
削減目標における選 択対象の位置づけ	

d.	次世代型太陽電池の開発
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選 択対象の位置づけ	

e.	電気自動車等
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選 択対象の位置づけ	

#### 5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	水素
目標年度	
定量的目標	

選択対象に関する定量的目標の概要	
------------------	--

b.	アンモニア
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

c.	洋上風力発電の低コスト化
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

d.	次世代型太陽電池の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

e.	電気自動車等
目標年度	

定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

#### 6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	子会社
------	-----

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2025年3月31日

中部電力株式会社  
代表取締役社長 林 欣吾